

# 地域再発見

## Part 4



地区民総出で行われる岩田地蔵の清掃活動

下野明、榎台、片貝、安沢、田茂沢、蒲沢の6地区からなる東郷地域は、かつては「神室修験道」沿いの集落として発達した、古い遺跡や寺社とたくさんの風習が昔から伝わる地域です。この地域づくりは、東郷地域総合振興協議会（会長は佐藤定蒲沢地区区長）を母体に進められています。

平成4年12月に、「21世紀東郷ロマンの町づくり」と題する地域総合振興計画「東郷地域21世紀計画」を策定し、①人づくり、②集落づくり、③農業づくり、④森林づくり、⑤郷土づくりの5つの振興策を掲げ、様々な活動を行っています。

地域のハード面では、縦貫する県道稲沢下野明線の2車線化への整備事業の推進、町立明安小学校の改築事業、生活排水処理施設の促進が図られ、さらに民間企業の大規模養豚場の立地と併せて、耕畜連携の循環型農業への取り組みが始まろうとしています。

一方ソフト面では、各地区ごとに慣わしや普請などが伝統的に行われてきていますが、地域的な取り組みとしては、明安小学校区の4つの地区と金山小学校区になっている2つの地区が学校を中心としたそれぞれの枠組みのなかで行われることがほとんどです。代表的なものとしては、廃校となった田茂沢分校舎を活用した田茂沢地区

健康と交流の場として利用されている安沢地区のグラウンドゴルフ場



と蒲沢地区の「道草ぶんこう」の取り組みや、明安小学校区の「フラワーロードづくり」などがあります。

興計画「東郷地域21世紀計画」の目標年次である西暦2010年まであと2年となった今、地域内からは、新しい計画を策定すべきではないかという声が上がってきており、振興協議会で議論

## 次代につなげる東郷

論を始めなければならない時期になっています。

「地域の魅力をみんなで考えてみよう」が地域公民館大会のここ数年の地域テーマで、東郷地域の地域づくりを推進するた

めに「地域の魅力探しの取り組みが始まりました。地域にあるたくさんの寺社は、



道草ぶんこう「さわやか祭」の開会式の模様

古くから地域の人たちの信仰を集め、大事に保全管理されてきています。そのうちの1つ、訪れる人を魅了してやまない片貝地区の岩田地蔵では、7月24日の祭礼に合わせて、地区民総出で清掃活動をしたり、老人クラブのみなさんが参道を整備したり、遠くから訪ねてくる参拝者たちを気持ちよく受け入れる環境づくりをしています。

「道草ぶんこう」は、田茂沢地区と蒲沢地区のみなさんが中心になった運営委員会を組織して、一年を通じた取り組みをしています。今年も、伝統料理や作品展示などを行い、地域の魅力について語り合う「さわやか祭」を10月に開催し、大勢の人でにぎわいました。

また、安沢地区では地区民の健康づくりや交流の促進を目的にグラウンドゴルフ場を作って多くの人に利用されていたり、貴重な伝統芸能の一つでもある安沢歌舞伎を伝承する取り組みや祭囃子など、子どもや若者の活力と交流を育んでいるほか、「地域の宝ものさがし」も取り組みはじめました。

これら各地区・地域の活動が東郷全体に波及し、伝統の再認識と新しい魅力の創造など、次の世代につなげる新しい地域振興計画の策定が期待されています。

（今回は金山地域です。）